



「高瀬舟」

倉敷市立船穂小学校 校長だより

令和7年7月3日 No. 63

通算100号目は「プラス言葉のススメ」



観測史上最速の梅雨明けとなっています。ものすごく暑い毎日ですが、船穂小の暑さ指数計はまだギリギリ危険域に到達していません。いつ、プールも暑さでできなくなるか、ひやひやしています。私が赴任した2月は真冬状態でしたので大きな環境の変化です。

さて、「高瀬舟」を発行し始めて5ヵ月が経過しました。今回で通算100号です。先日の児童朝礼の話題を挙げます。

1学期も終わりが近づいてきました。お勉強のまとめをする大切な時期です。

勉強に大切な働きをしているのは何かな？「脳」です。「脳」は考える場所ですが、自分が話す言葉に敏感に反応するところです。それによって「脳」はますますよくなったり、逆に悪くなったりすると科学的にも分かっているそうです。みんな、よく働かせたいですね。

脳に悪いのは「マイナス言葉」を使ってしまうことだそうです！勉強をするときや友達と話をするときに、「むり」「いや」「ダメ」「できない」「〇〇さんが悪い」(悪口)などの「マイナス言葉」を使っていますか？マイナス言葉をキャッチした脳は、だんだんマイナスな気分になり、考えることをやめてしまいます。そして元気も勇気もなくなっていくんです。この脳の動きが、勉強で嫌いを生み出します。嫌いなので勉強しません。だから、できるようになりません。そしてもっと嫌いになります。マイナスエネルギーが大きくなってしまいます。

「脳」の働きをよくしたいならば、マイナス言葉は使わない！逆の「プラス言葉」を使いましょう！

「できる」「できそう」「いいよ」「いいね」「やってみよう」「〇〇さんのいいところは・・・」(ほめ言葉)などと様々なプラス思考の言葉を使っていくといいですよ！プラス言葉をキャッチした脳は、だんだんプラスな気分になっていくようになり、思考をどんどん始めます。そして元気も勇気もどんどん増えていきます。そして勉強することそのものが好きになっていきます。プラスエネルギーが大きくなっていきます。

プラス言葉をしっかり使って、1学期の締めくくりをしていきましょう！

・・・という話です。学期末というタイミングと慣れない暑さで気持ちがゆるみそうになる時期です。お家の方もぜひプラス言葉に導いてあげていただけたらと思います。よろしくお願いします。